

人生を変える力もある運動会？！

運動会。実は、運動会は私の人生を変えた、人生のターニングポイントとなった行事です。企業に勤めていた私を、教師の道に転換させたものが運動会でした。26歳のある秋の日曜日、たまたま運動会を行っている小学校に立ち寄りしました。ちょうどそのとき目にしたのが、紅白選手リレー。抜きつ抜かれつ、全力疾走している子どもの表情に私の魂は揺さぶられました。大きな声援が飛び交う中、熱いものがこみ上げてきて、一人茫然としていたような記憶があります。このとき、教師になることを決意したことだけはよく覚えています。運動会が来る度にそのことをなつかしく思い出します。

今年の運動会でも子どもたちは見せてくれるはず。観る者の心を熱くする競技・演技での真剣な表情を。そう思うだけで胸がときめきます。

でも、実は教師がそんな感動を味わえるのは運動会当日だけではないのです。

…略。毎日の組体操の練習はとてきつそうですが、日々、ドラマがあり感動の毎日です。その感動の瞬間に立ち会える先生って幸せ者かも・・・??

…略。でも初めて飛行機ができた時は、ものすごくうれしくてみんなで喜びました。練習できてこんなにうれしいのだから、本番で成功したらものすごくうれしいと思います。だから、そのうれしさを味わいたいのでせいいっぱい練習しがんばりたいです。

学年通信、学級通信に目をとおしていると、運動会に取り組む子どもや教師の熱い思いが伝わってきます。教師が何を教えようとしているのか。子どもたちが練習の過程でどんなにたくさんすばらしいことを学んでいるのか。6月2日は練習の集大成です。

皆様方のご来場をお待ちしています。

お知らせ 光化学オキシダントの注意報（警報）が発令された場合、運動会を中止せざるを得ないこともあります。現在の気象状況からは発令される可能性は低いと思います。しかし、運動会に限らずいつの場合でも発令されれば、**屋外での学習活動や遊びを中止することが基本スタンスです。特に、ぜんそく・気管支炎等呼吸器疾患ならびに特異体質の子どもに対しては室内で安静にさせます。**（市教委通知から一部抜粋）

本年度の学校協力者会議委員は次の方たちです。

船越小学校の学校経営、教育実践に対して忌憚のない意見、助言を頂戴し、本年度の教育改善に生かしていきます。保護者、地域の皆様方で学校教育や子どものことで意見、提言などがありましたら、学校協力者会議委員の方にお伝えいただくのも一つの方法かと思えます。委員の皆様にはこの一年間どうぞよろしくお願いいたします。

下岡正行	船越公民館運営委員長	世羅智子	船越公民館館長
上松敏郎	船越地区社会福祉協議会会長	向井静恵	主任児童委員
浦田 昭	船越地区連合町内会会長	船井亮造	船越学区子ども会会長
朝倉嘉枝	船越町婦人会会長	岡 清二	船越小学校前PTA会長
小坂熙嘉	船越地区連合老人クラブ会長	稲垣潤哉	船越小学校PTA会長
中村 香	民生委員・児童委員協議会副会長	白倉美香	船越小学校PTA副会長
中山千恵	船越幼稚園園長		

腹をすかせよ

「適当に貧乏をしながらよく勉強するよう」にしてください」
勉強などということは、何不自由のない境遇ではできるものではない。いながらにして食べるもののある熱帯に住む人たちが働く気を起こさないと同じ理屈だろう。

・ ・ ・ 貧しい家庭の子どもは、いつも腹をすかせている。心もひもじいのである。あれもほしい、こどももしてみたいと思うが、なかなか叶えてもらえない。それでいよいよ欲求が高まる。意欲もわく。じつとしていられない気持ちだが、何事をするにしても積極的な行動をとらせる。現状打破をしなければたまらない。それには努力しかないのは考えてみなくてもはつきりしている。空腹は食欲をおこす。貧しさは意欲をかき立てる。幼いときに適度に貧乏であることは大きな幸福で、それに対して、神に感謝すべきかもしれない。貧しさにはそういう徳がある。富めるものをうらやむことはない。

・ ・ ・ **もっと心の腹をすかせないといけない。** 母親に果たしてその勇気があるか。生活に不自由はないが、わが子を育てるために、あえて、思い通りにさせないだけの心のつよさがあるか。

・ ・ ・ 教育とは、すこし残酷なこと、かわいそうなことを、あえてしなといけならしい。（親は子に何を教えるべきか より抜粋 一九七九PHP研究所 外山滋比古著）
戦後の日本人の生活は総じて貧しかったという。いつも腹をすかせていたという。しかし、みんな夢はもっていた。貧しさが将来への熱い志をかきたてていた。一教室に五十人、六十人子どもがいた。満足な教育は行えなかったはず。しかし、子どもは今より真剣に勉強したという。